施工説明書

TOTO

小型電気温水器（先止め式）

湯ぽっと
REK12型・REK25型・REK35型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
この施工説明書では、商品を正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示は、次のようになっています。
内容をよく理解して正しく取り付けてください。

表　示	意　　味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については次の意味があります。

絵表示	意　味	絵表示		絵表示	意　味
⃠	一般的な禁止	⏚	アースを接続せよ	❗	必ず実行

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」に従って各部の点検を行い、器具のガタつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

商品に同梱されている「取扱説明書（保証書付）」は、使用者に商品を正しく安全に使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。
なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

⚠ 警告

分解禁止	**修理技術者以外の人は、この説明書に記載された項目以外は絶対に分解・修理・改造は行わない** 感電や故障の原因になります。
水場での使用禁止	**水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには使用しない** 感電や故障の原因になります。
禁　止	**屋内用のため、屋外には設置しない** 感電や故障の原因になります。
	水・油・洗剤などがかかる位置に電源プラグ用のコンセントを設けない 感電の原因になります。
	電源コードの加工(切断･継ぎ足し)を行わない 感電･火災の原因になります。
	指定する電源以外では使用しない ヒーターの断線・火災などの原因になります。
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない 火災の原因になります。
アース接続	**電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士)」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う** 誤った工事を行うと故障や漏電の時に感電するおそれがあります。
必ず実行	**漏電遮断器を取り付ける** 感電や火災の原因になります。
	熱湯用出湯口には必ず専用水栓を接続する 一般水栓を接続すると水栓が破損しやけどや水漏れのおそれがあります。
	開梱後、不要になった梱包材は速やかに処分する 段ボールやビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

1 安全上の注意（つづき）

⚠ 注意

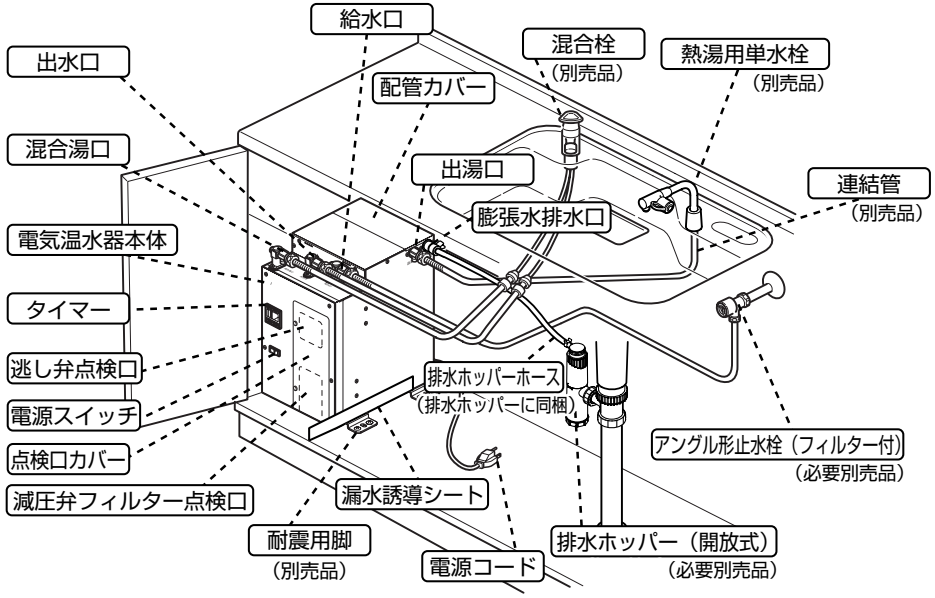
禁止	**タンク内に水がないときは、絶対に電源スイッチを入れない** 空焚きとなり、故障や事故の原因になります。
	水道水以外は、通水しない 井戸水などを通水すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。
	商品に強い力や衝撃を与えない 故障や水漏れの原因になります。
必ず実行	**水抜きを行うときは、必ず電源スイッチを「切」にする** 空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。
	施工後、長期間使用されない場合は、電源プラグを抜いて、水抜きする 水質が変化した場合、下痢・腹痛など体をこわすおそれがあります。
	排水管は耐熱性のものを使用する 熱による変形、割れなどで水漏れするおそれがあります
	給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯（約20L）程度の水を捨てる フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。
	凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く 「15 機器内の水抜き方法」を参照ください 凍結破損し、水漏れのおそれがあります。
	必ず連結配管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付ける 凍結した場合、破損し水漏れするおそれがあります。
	フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、止水栓を閉めてから行う 水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

おねがい

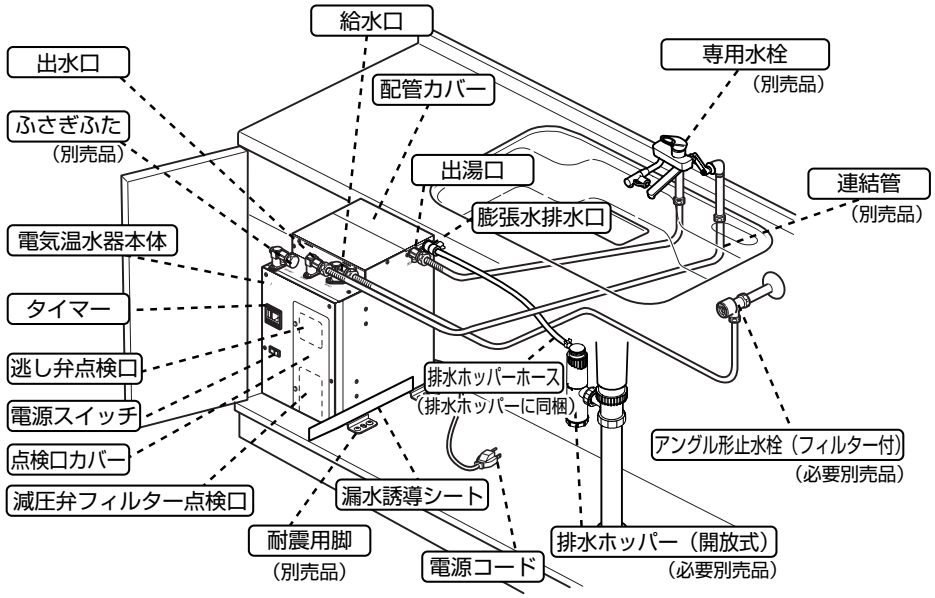
- 給水圧力は最低必要水圧（流動時）0.05MPa・最高水圧（静止時）0.75MPaです。
  この圧力の範囲内でご使用ください。
  （0.05MPa未満で使用すると流量が少なくなります。）
- 取扱説明書の保証書に、取付店または販売店名およびお引渡し日を必ず記入してください。
- 必ずフィルター付きアングル形止水栓（必要別売品）を取り付けてください。
- 必ず開放式排水ホッパー（必要別売品）を取り付けてください。
- 給水管にはフレキシブル管をご使用ください。
  （鋼管などで接続されると、シール剤などが内部に入り、作動不良を起こす場合があります。）
- 空焚き、施工上の不具合は当社では責任を負いかねます。万一施工上に起因する不具合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。
- 天井裏など日常点検ができない場所への設置は避けてください。

2 各部の名称

1. 混合栓と熱湯用単水栓を接続する場合

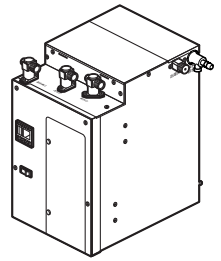
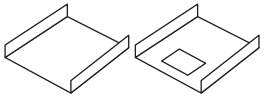
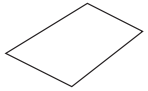
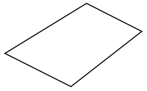


2. 熱湯用シングルレバー混合栓（まぜーる）を接続する場合



3 部品の確認

施工前に必ず部品を確認してください。

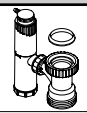
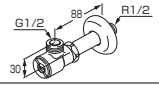
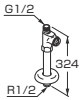
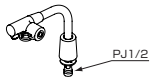
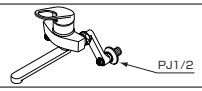
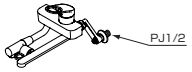
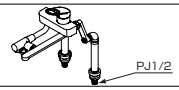
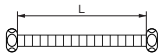
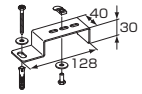
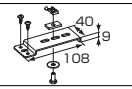
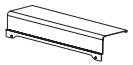
①電気温水器本体	②水抜きチューブ	③漏水誘導シート
 ※機種により形状が異なります。	L＝300mm お客様にお渡しください	
	④取扱説明書（保証書付）	⑤施工説明書
	 お客様にお渡しください	

4 仕　　様

品番			REK12A1DN	REK12A1CN	REK25C2DN	REK25C2CN	REK35D2DN	REK35D2CN
自動給排水機能			○	－	○	－	○	－
貯湯量			約12L		約25L		約35L	
定格	電圧		AC 100V		単相 AC 200V			
	周波数		50／60Hz					
	電源プラグ		125V 15A		250V 20A			
消費電力			1.1kW		2.0kW		3.1kW	
給水方式			先止め式（減圧弁・逃し弁内蔵）					
沸き上がり温度			約60℃～90℃					
出湯温度			出湯口：約60℃～90℃（設定温度による）					
			混合湯口：約30℃～55℃（設定温度に応じて変動）					
沸き上がり時間（15℃→90℃）			約55分		約60分		約60分	
主要部品	ヒーター		シーズヒーター					
	減圧弁		設定値　0.08MPa					
	逃し弁		設定値　吹始め圧力 0.095MPa					
	自動温度調節器		サーミスター検知による湯温制御					
	タイマー		ウィークリータイマー（温調・おまかせ節電機能付き）					
安全装置	温度過昇防止器		手動復帰式バイメタル					
	アース		電源プラグアース付き					
商品寸法（幅×奥行×高さ）			250mm×336mm×402mm		360mm×436mm×401mm		378mm×436mm×479mm	
商品質量（満水時質量）			約12kg(約24kg)	約11kg(約23kg)	約15kg(約40kg)	約14kg(約39kg)	約18kg(約54kg)	約17kg(約54kg)
電源コード長さ			1.5m					
使用条件	使用環境温度		1℃～40℃					
	使用水圧	最低必要水圧（流動時）	0.05MPa					
		最高水圧（静止時）	0.75MPa					

※REK12A1DN、REK12A1CNの単相200V仕様としてREK12A1DNT100、REK12A1CNT100をそれぞれ注文生産品としてご用意しています。

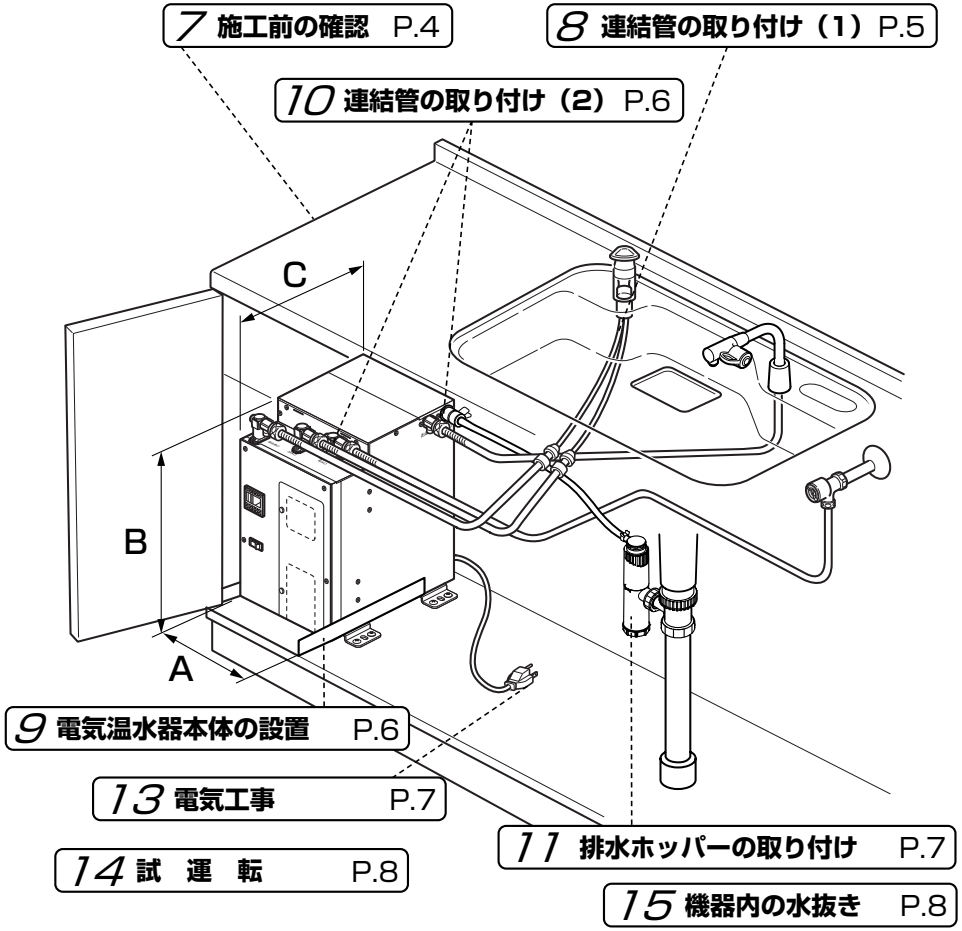
5 別売品一覧

品　名	品　番	形　　状	備　　考
★開放式排水ホッパー	RHE22H-50N		膨張水処理用（排水ホッパーホース長さ：800mm）
★アングル形止水栓	TL347CU		給水用フィルター付き
★ストレート形止水栓	TL348CU		給水用フィルター付き
★熱湯用単水栓	T30FDU13		専用単水栓
	T76D		専用単水栓
★専用水栓（まぜーる）※1	T330D		熱湯用シングルレバー混合栓
	T335D		熱湯用シングルレバー混合栓
	T336D		熱湯用シングルレバー混合栓
連結管	RHE436-20		L=200mm
	RHE436-30		L=300mm
	RHE436-35N		L=350mm
	RHE436-40		L=400mm
	RHE436-45N		L=450mm
	RHE436-50		L=500mm
	RHE436-60		L=600mm
	TN65LX75		L=750mm
	RHE140		L=850mm
湯ぽっと耐震用脚	RHE706		床用
	RHE707		キッチン用
配管カバー	RHE651	 化粧ネジ（×2）	REK12型用
	RHE652		REK25型用
	RHE653		REK35型用
ふさぎふた	TH651		使用しない接続口をふさぐことができます。

※★は必要別売品です。
※1:T330D、T335D、T336D以外の専用水栓（まぜーる）はセット不可です。

6 施　工　例

この施工図は、施工例です。取り付けは、シンクキャビネットおよびRタイプ、Lタイプにより異なります。



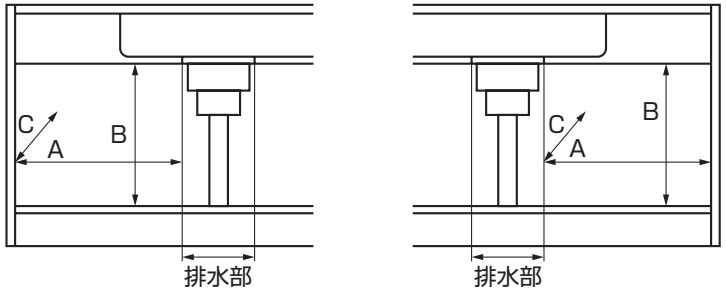
商品寸法			
	REK12型	REK25型	REK35型
A	250mm	360mm	378mm
B	402mm	401mm	479mm
C	336mm	436mm	436mm

7 施工前の確認

（1）設置スペースの確認

設置には、下記のスペースが必要です。

①排水部の左側に設置する場合　　②排水部の右側に設置する場合



	REK12型	REK25型	REK35型
A	約350mm	約460mm	約480mm
B	約420mm	約420mm	約500mm
C（奥行）	約390mm	約490mm	約490mm

※A寸法は、湯ぽっと（幅）＋連結管取付けスペースです。
※A、B、C寸法は、シンク排水本体形状、キャビネット扉の丁番形状、包丁差し形状により、多少異なります。

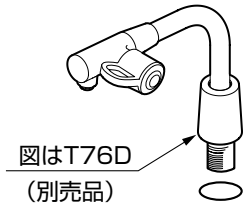
（2）キャビネット底板強度の確認

キャビネット底板に設置するため、満水時の商品質量に耐える強度が必要です。
キャビネット底板の強度が不足している場合は、底板を補強してください。

	REK12A1DN	REK12A1CN	REK25C2DN	REK25C2CN	REK35D2DN	REK35D2CN
商品質量（満水時）	約24kg	約23kg	約40kg	約39kg	約54kg	約54kg

（3）水栓取付穴の確認

台付の熱湯用単水栓を取り付ける場合は、キッチンカウンターにサブ水栓用の取付穴が必要です。取付穴がない場合は、穴の加工を行ってください。

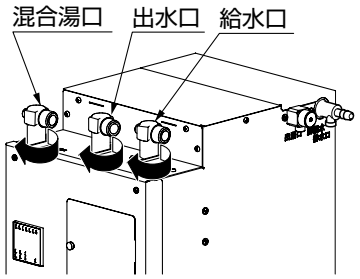


熱湯用単水栓（T76D）の取付穴径は、φ25mmです。
その他の水栓を取り付ける場合は、取付穴径を確認のうえ、加工してください。

7 施工前の確認（つづき）

（4）排水部の右側に設置する場合（左側に配管接続する場合）

〔前部接続口〕

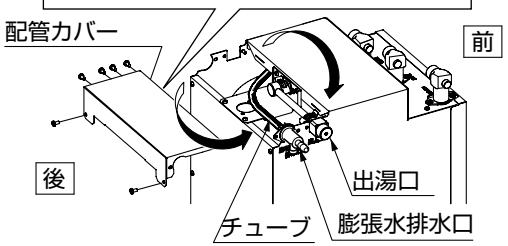


前部の接続口3カ所
（給水口・出水口・混合湯口）は、
左右に回転可能。

〔後部接続口〕

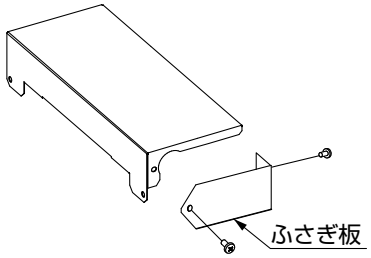
〔自動給排水なしの場合〕

配管カバーおよび接続口の取り外しは下記のネジ（本数）計6本を外してください。
- 配管カバー（2本）
- 膨張水排水口（2本）
- 出湯口（2本）



接続口と配管カバー固定ねじ(6本)を外し、配管カバーを取り外して接続口を矢印の向きに回転させて方向を変えます。
（チューブは折れ曲がらないように注意）

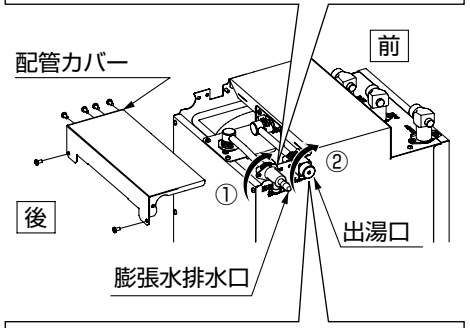
〔配管カバー〕



ふさぎ板を反対へ固定し、配管カバーを本体に取り付けます。

〔自動給排水タイプの場合〕

膨張水排水口を回転させる際は接続口をその場で180°回転させ（①）接続口のフランジがケースに当たらないようにしてパイプと一緒に回転させてください。



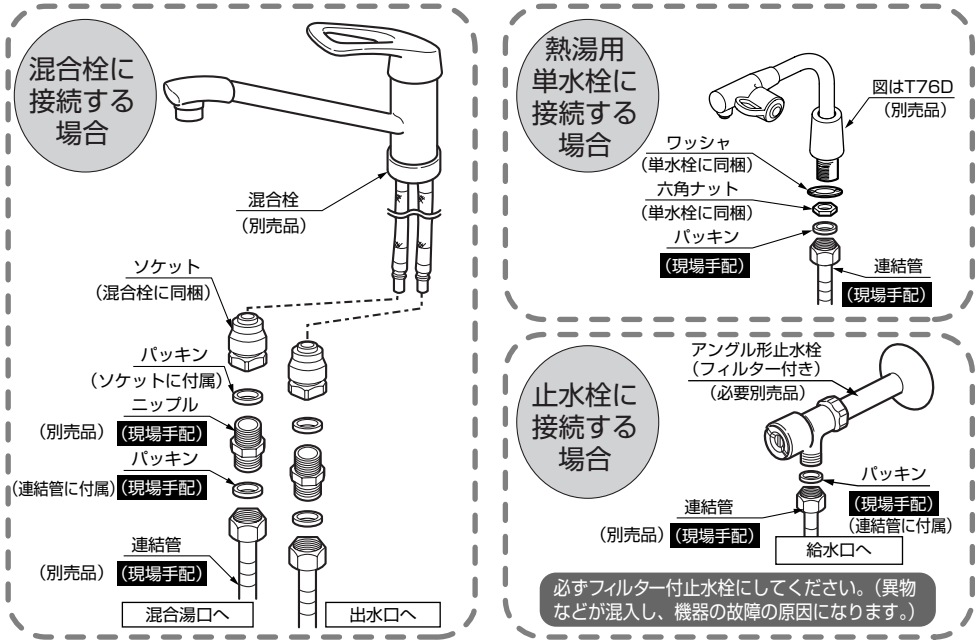
出湯口の吸気栓は出荷時下側に位置しますが、反転させた場合上側にきます。
→出湯口を反転させ（②）吸気栓が下側にくるようにしてください。

8 連結管の取り付け（1）

下図の要領で水栓・止水栓に連結管を取り付けてください。
キッチンカウンターへの水栓の取り付けは、水栓に同梱の『施工説明書』に従って取り付けてください。

注意	電気温水器と止水栓の接続はフレキシブル管を使用してください。 鋼管などで接続するとシール剤などが内部に入り動作不良を起こす場合があります。

連結管、パッキンは耐熱のものをご使用ください。



※専用水栓の取付方法は、専用水栓に同梱の施工説明書を参照してください。

9 電気温水器本体の設置

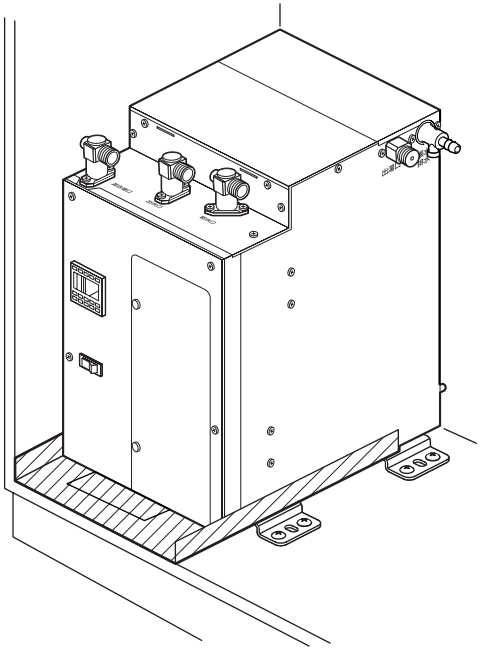
満水質量が15kgを越える場合は、下記いずれかの方法で施工してください。

①丈夫な壁で囲うなどの転倒防止工事を現場で行う。
②弊社別売品（耐震用脚）を使用して施工する。

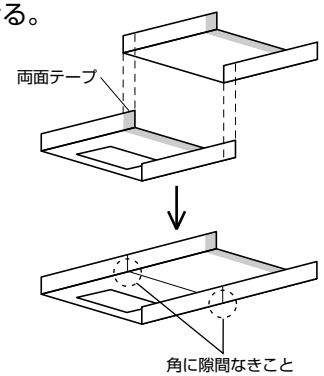
※耐震用脚（別売品）を取り付ける場合は、耐震用脚の施工説明書をご覧ください。

万一水漏れした場合に水漏れの発見をいち早く知らせるためのものですので必ず漏水誘導シート（同梱品）を取り付けてください。

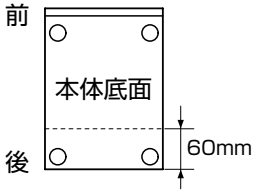
電気温水器本体に漏水誘導シート（同梱品）を張り付け、本体をシンクキャビネットに設置してください。



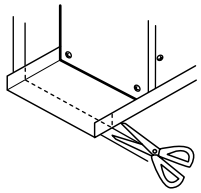
- シートの両面テープの台紙をはがし、もう片方のシートを上にして張り付ける。



- 本体底面後ろから60mmを目安として漏水誘導シートを張り付ける。



- 電気温水器本体をキッチンキャビネットに設置し、キャビネットより飛び出している部分をハサミなどで切り除く。

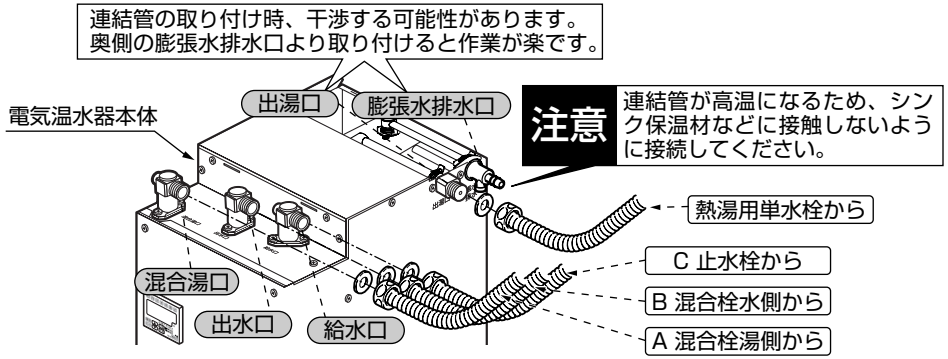


10 連結管の取り付け（2）

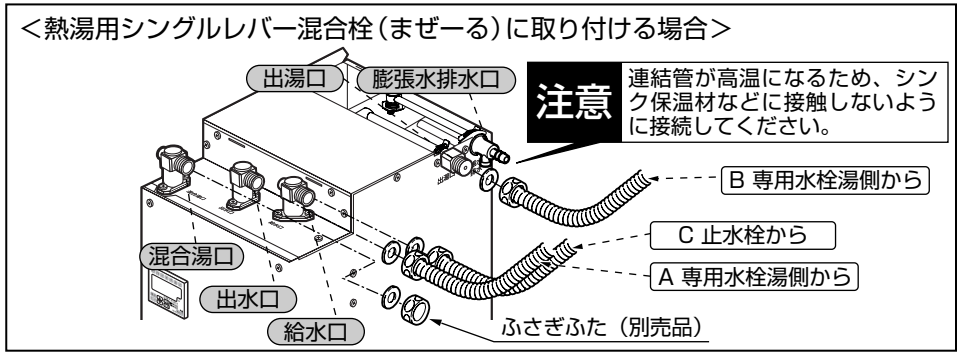
⚠注意

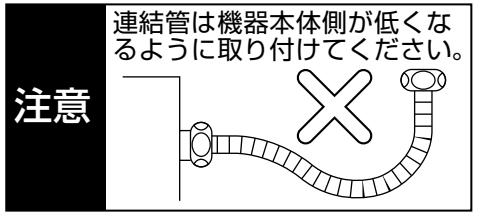
給水口に接続する前に必ず止水栓を開けバケツ2杯（約20L）程度の水を捨てる
フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。

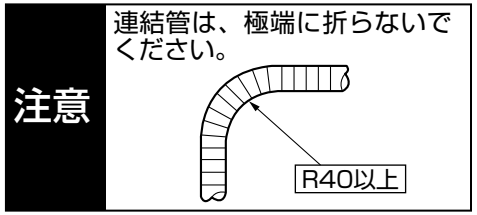
電気温水器本体をキャビネットに設置し、下図の要領で連結管を電気温水器本体に接続してください。



連結管は、裏側から取り付けると作業が楽です。

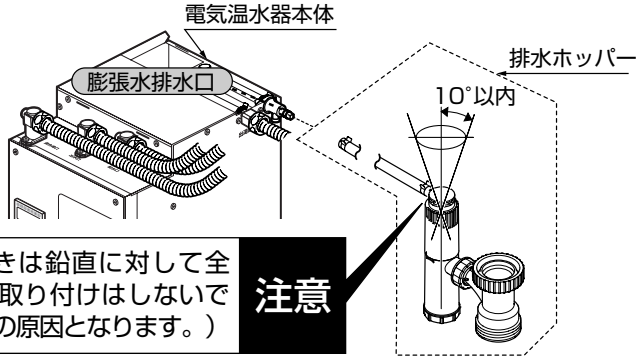






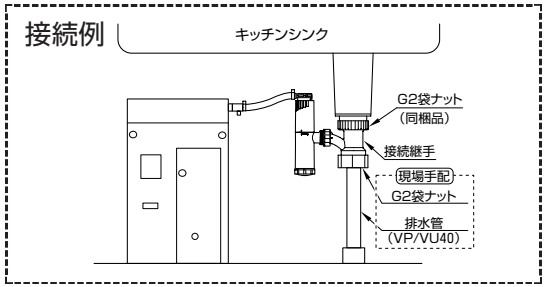
11 排水ホッパー（別売品）の取り付け

下図の要領で排水ホッパー（別売品）を電気温水器本体の膨張水排水口に接続してください。

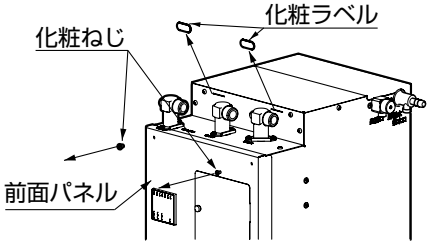


注意
排水ホッパーの傾きは鉛直に対して全方向10°を越える取り付けはしないでください。（水漏れの原因となります。）

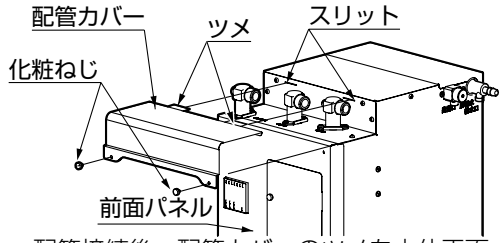
※排水ホッパーの取り付けは、排水ホッパーに同梱の『施工説明書』に従って取り付けてください。



12 配管カバー（別売品）の取り付け



前面パネル上部のねじを外し、化粧ラベルをはがす。



配管接続後、配管カバーのツメを本体正面のスリットに差し込んで配管カバーを付属の化粧ねじで前面パネルと固定する。

13 電気工事

⚠警告

⏚	**電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士）」が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う** 誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
❗	**漏電遮断器を取り付ける** 感電や火災の原因になります。

1）電源が規定の電圧であることを確認する。
2）接地極付電源プラグになっているので必ず、対応したコンセント工事と電源容量を確保する。

	品　番	電　圧	消費電力	電源プラグ	対応コンセント パナソニック品番
REK12型	REK12A1CN REK12A1DN	AC100V	1.1kW	125V/15A	WK3001W（露出） WF3002EK（埋込）
REK12型	REK12A1CN T100 REK12A1DN T100	単相 AC200V	1.5kW	250V/20A	WK2520B/W（露出） WF2520B/W（埋込）
REK25型	REK25C2CN REK25C2DN	単相 AC200V	2.0kW		
REK35型	REK35D2CN REK35D2DN	単相 AC200V	3.1kW		

※品番は、電気温水器本体側面の銘板で確認してください。

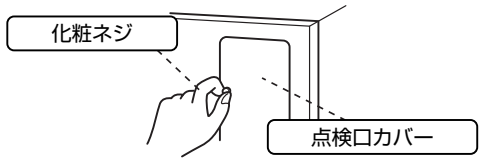
14 試　運　転

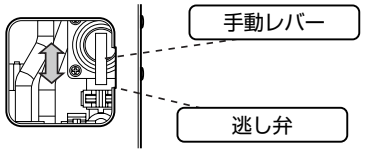
⚠注意

タンク内に水がないときは、絶対に電源スイッチを入れない
空焚きとなり故障・やけどの原因になります。

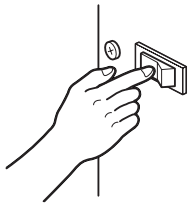
1）電気温水器への給水

①止水栓を開ける。
②熱湯用単水栓の給湯ハンドルを全開にする。
③水が出ることを確認し、熱湯用単水栓を閉める。
④連結管接続部からの水漏れがないことを確認する。
⑤点検口カバーを化粧ネジ（上下２カ所）を外して開け、逃し弁の手動レバーを引き上げ排水ホッパーへ通水し、各接続部からの水漏れがないことを確認する。





2）電気温水器への通電　空焚き禁止



①電源プラグをコンセントに差し込む。
②『電源』スイッチを押し、ランプが点灯することを確認する。
③『電源』スイッチを再度押し、ランプが消灯したことを確認し、電源プラグを抜く。

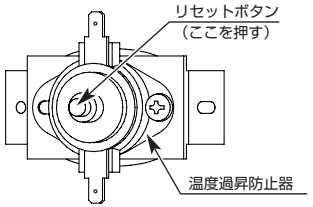
※ランプ点灯後、長時間放置するとタンク内の水温が上昇します。

減圧弁、止水栓フィルターにゴミが詰まると故障の原因になります。
試運転後、止水栓フィルターの掃除を行ってください。
（掃除の方法は、取扱説明書を参照してください）

※減圧弁・逃し弁は消耗部品です。劣化により機能の低下や水漏れする可能性があります。
必ず定期的に交換するよう、お客様に説明してください。（交換の目安：5年）

空焚きリセット方法

※万一空焚きした場合は、以下の手順で電気温水器内の温度過昇防止器のリセットボタンを押せば復帰します。
①電源スイッチを「切」にする。
②電源プラグを引き抜く。
③タンク内に水を入れて、タンクの温度を下げる。
④前面パネルを取り外し、右図のリセットボタンを押す。



15 機器内の水抜き

⚠注意

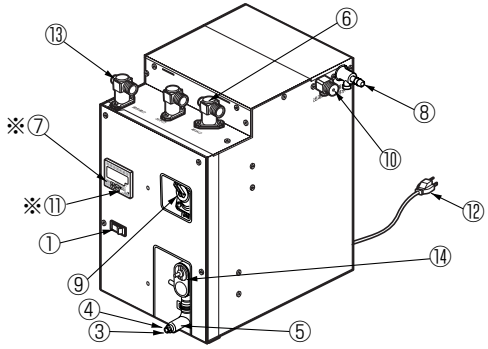
施工後、長時間使用されない場合は、電源プラグを抜いて、水抜きする
水質が変化した場合、下痢・腹痛など体をこわすおそれがあります。

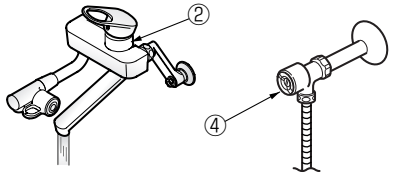
引き渡しまでに長時間ご使用されない場合や凍結のおそれがある場合には、次の要領で機器本体および排水ホッパー内の水抜きを行ってください。その際タンク内の水温が高いときは水栓より排出し水温が下がっていることを確認してください。

＜水抜き手順＞
①電源スイッチを切にする。
②混合栓の水側および湯側を開け、タンク内の湯が水になったら混合栓を閉める。
注 タンク内に湯が残っているとやけどをするおそれがあります。
③付属の水抜きチューブを排水栓に差し込む。
④止水栓を閉める。
注 排水栓を開けると水が流れ出しますので、必ず受け皿などで受ける準備をしてください。
⑤排水栓を左に回す。
⑥給水口の水抜栓を抜く。
※⑦お湯入れ替え「手動」キーを押す。
⑧膨張水排水口の水抜栓を抜く。
⑨逃し弁の手動レバーを引き上げる。
⑩出湯口の水抜栓を抜く。
※⑪水抜き完了後、「手動」キーを押す。
⑫電源プラグを抜く。
⑬混合湯口の水抜栓を抜く。
⑭最後に減圧弁の水抜きボタンを押し、減圧弁内の水を抜く。
※⑦⑪は自動給排水機能付きのみ該当します。

＜排水にかかる時間＞

貯湯量	12L	25L	35L
排水時間	約8分	約14分	約20分





※水抜きボタンを押したあと、水抜きボタンが元に戻らない場合がありますが、故障ではありません。再度タンクに水を入れると元に戻ります。

寒冷地での設置

●電源スイッチが「入」の状態でも配管が凍結する場合は、必ず給水・出水・出湯側・混合湯口の各連結管と排水管に保温材または、ヒーターを巻いてください。